支援者・教師用「コンテンツ活用の手引」

本コンテンツは一般企業への就労を目指す知的障害のある人、すでに就労している人(※以下、学習者や当事者と記す)、さらには、雇用主・職場の方々を視聴対象として制作されました。実際の職場で当事者たちがどのような時に不安になるのか、どうしたら安心して仕事ができるようになるのか、働きやすい環境作りの必要性も含めて描いています。

本コンテンツは学習者個人の自由視聴が可能ではありますが、特別支援学校等の学校、就労支援事業所、公民館や職場での社内研修等による活用も想定しています。

そこで、以下のようなコンテンツの主旨と留意事項を明記し、コンテンツの流れに沿った学習支援案(後述)を含むこの「支援者用・コンテンツ活用の手引」を作成することにしました。

なお、コンテンツの「シナリオ」もダウンロード可能になっていますので、必要に応じて活用してください。

1.特別支援学校等の学校現場での活用

コンテンツは特別支援学校等の協力の下で、すでに企業就労している卒業生の様子や職場実習(インターンシップ)でのよくある事例に基づいて制作されています。そのため、職場実習の事前事後学習等で使いやすいように場面を細分化しています。支援案とあわせて、生徒たちが主体的に学べる授業に役立ててください。

2.就労支援事業所・公民館の生涯学習講座等での活用の場合

多くの場合、企業就労経験とあわせて離職経験のある社会人も対象になると思います。当事者はそれぞれの体験に基づく様々な思いを抱いて視聴すると思われます。そのため、支援案にかかわらず、コンテンツの各場面について、支援者の方々も同じ社会人として共に考える立場での丁寧な活用をお願いします。また、合理的配慮が企業に求められています。各場面で当事者がどのように対応したらよいかについても確認してください。職場での採用前実習等では、当事者と職場の上司・同僚の方と、実際の仕事場で合理的な配慮について確認をお願いします。

なお、公民館の生涯学習講座に参加する当事者は、休日のひとときを過ごすために参加している場合も多いと思われます。コンテンツの視聴をきっかけに、当事者同士の交流が深まり、結果として職場環境の改善に結びつくように支援をお願いできれば幸いです。

3.職場での社内研修等での活用の場合

当事者が働く上では様々な困難を抱えることがあります。努力しても指示を聞き逃してしまったり、ミスをしてしまったり、さらに、それを注意され不安を抱えたり、動揺したり、働く意欲が低下してしまったりすることもあります。本コンテンツはそのような場面を想定して制作されました。

ミスを未然に防ぎ、よりよい働きぶりを支えるために、コンテンツでは、口頭での説明に加え、見本を置いたり、文字や目印で分かりやすく表示したりする配慮を例示しています。

本人ともよく相談の上で、過度な負担にならない範囲で、働きやすい合理的な配慮の検討をお願いします。あわせて、本人が気軽に相談できる相談支援体制を各職場でつくることも望まれます。

今後も、当事者の思いに沿った、働きやすい職場環境の改善や整備に向け、関係者のいっそうのご尽力を願うとともに、本コンテンツもその一助になればと強く願っています。

4. 本コンテンツの活用の実際

①本コンテンツは全編を通して視聴すると 19 分 27 秒あります。

②コンテンツの学習ポイントは四つになります。

・仕事の指示が分かりにくかった場合の対応(含：合理的配慮の申し出)方法

・分からなくなったときの対応方法

・ミスをしてしまい注意を受けた際の動揺・不安やイライラ等への対応方法

・仕事で悩みを抱えたときの家族や職場への相談の仕方

③コンテンツは「はじめに」とは別に、７つの動画(＝下記学習支援案の太枠区切り)で構成されています。

④**座学の時間(授業時間)の長さに応じて、動画ごとに視聴し**活用することも可能です。

⑤各動画のポイントを下記の学習支援案にまとめました。「一時停止」場面にはゴシック体で「 分 秒」の記載をしましたので、目安としてご活用ください。

5. 学習支援案

時間	コンテンツの場面・活動内容	支援者による問いかけや支援
導入	＜コンテンツを視聴する前＞ ○職場(実習)で上司から注意を受けたときの対応について考えを発表する。 ○「職場で注意を受けたとき」にどうしたらよいか動画を見ながら確認することを知る。	○職場や実習で実際にあった事を例示したり、体験を伝えてもらったりする。

☆動画Ⅰ「　導入　(人物紹介から昼休みまで)　」(2 分 20 秒)

01分44秒	○折り方の説明を受けてチーフが説明して去ろうとしたときのシーンを視聴して、何かできる対応がないか意見を出し合う。 ・見本をおいてもらう ・外三つ折りであることを復唱する ・不良品のズレをチーフと再確認する ・外三つ折りを実際にやることをチーフに見てもらう…等 ○動画でハルキさんの実際の対応を確認する。 ○見本を置いてもらう対応があることを確認する。	**01分44秒シーン：チーフ「じゃあ、よろしく！」の後で動画を一時停止。** ○自分の立場で考えることができるように「どんな折り方だろう？」など、仕事の指示が理解できたかどうか問いかける。 **※必要に応じて、グループごとで話し合ったり、意見発表をしたりする。以下、全てのユニットについても同様。** ○当事者から出た意見とあわせて、見本を置いてもらえるように申し出ることができることを確認する。

☆動画Ⅱ「　はるきさんはなぜ失敗したのだろう？

（午後の仕事→新しい仕事→注意を受けて動揺してしまう）　」（3 分 50 秒）

00分07秒	○チーフからの新しい仕事(内三つ折り)の依頼を受ける→「内三つ折り」と「不良品の扱い」についての対応を先ほどと同様に意見を出し合う。 ・印刷のズレの確認　・不良品を入れる箱に印は？ ・内三つ折りの再確認　・見本は？…等	**00分54秒シーン：チーフ「じゃあ、よろしくね！」の後で動画を一時停止。** ○当事者の様子に応じて、先ほど挙げられていた対応を例として示し、確認し合いながら仕事を進めることの大切さを再確認する。
01分08秒	○書類を落として折り方が分からなくなる…分からないまま進めてしまうとどんなことが起きてしまうかについて意見を出し合う。 ・間違えてしまう　・チラシを見た人が困る ・注意を受けてしまう…等 ○分からないときはどうしたらいいのかについて意見を出し合う。 ・チーフや隣で働く同僚に質問する…等、先ほど出た対応。	**02分02秒シーン：ナレーション「…折り方の指示を忘れてしまいました。」で動画を一時停止。** ○これまでの職場体験や実習等を振り返ることができるように問いかける。 ○先ほど確認された内容を再確認できるようにする。
02分07秒	＜折り方の間違いで注意を受ける（1）＞ ○分からないまま進めてしまうと間違えることで、結果として、注意を受けてしまったり、チラシを見る人か困ったりすることがあることを確認し合う。	**03分46秒シーン：ナレーション「…分からなくなってしまいました。」で動画を一時停止。** ○本ユニットでは、分からないまま進めてしまうと間違えることがあることを確認し、先ほど確認された内容の重要性を簡単に再確認する。

☆動画Ⅲ「　仕事に行きたくなくなったら…

（書類を落とすシーンからの振り返り→不良品の扱いの間違い→
注意を受けてさらに動揺してしまう→次の日に仕事に行けない…）　」（3 分 14 秒）

00分27秒	○不良品の扱いで注意を受けてしまう…これまでにこのような経験（気持ち）をしたことがあるかその時どうしたのか意見を出し合う。 ○分からないまま進めてしまうと間違えることがあることを知る。 ○メモを置いてもらう等を申し出ることの大切さを知る。	**02分05秒シーン：チーフ「仕事の指示はしっかり聞いていないとダメだよ」で動画を一時停止。** ○分からないことがあるときは、メモを置いてもらうなど合理的配慮を申し出ることの重要性を確認する。

座学(授業)の目標を「指示の確認」「分からないときの対応」に設定する場合は、
<u>この「メモとカゴのシーン」で一コマの座学(授業)を終了することも可能です。</u>

これ以降は、動画でこれまでのシーンを振り返りながら
不安やイライラした気持ちをどのように受けとめたらいいのか？
どのように相談したらよいかを考えるユニットになります。

☆動画Ⅳ「　事例の振り返り

（仕事の回想シーン→ナレーションの『一緒に考えましょう』という投げかけ）　」（2 分 00 秒）

00分09秒	○一連の出来事を振り返りながら、注意を受けて、落ち込んだり、イライラしたりしたときどうしたらいいかについて意見を出し合う。 ・深呼吸する　・友達に相談する ・同僚に相談する　・家族に相談する…等	**01分47秒シーン：ナレーション「…悔しい気持ち」が我慢できないとき」で動画を一時停止。** ○落ち込んだり、イライラしたりしたときにどうしていたか過去の体験を振り返る問いかけをする。
	○家族や親しい人に気持ちを伝えて相談することの大切さを知る。	**○**家族や友人に相談した経験があるがある場合には経験談を伝えてもらう。

☆動画Ⅴ「　シチュエーション解説①家族や親しい人に伝える

（母親への相談→アニメーション：注意を受けた時の気持ちの変化）　」（1 分 53 秒）

00分52秒	○家族や親しい人に相談したこと等を紹介し合う。 ○相談するとスッキリする、安心する……等を確認し合う。 ○アニメーションを見ながら、落ち込んだり、イライラしたりしたときの身体や気持ちの変化について意見を出し合う。 ・ドキドキする　・頭が痛くなる…等	○プライバシーに支障ない範囲でどんな相談だったのか、どのように相談したのか意見を求める。 **00分51秒シーン：ハルキ「…今もイライラしている」母親（うなずく）で動画を一時停止。** ○これまでの実習や職場での体験、あるいは、本動画での出来事にも触れながら、どのような感覚になるのか問いかける。

☆動画Ⅵ「　シチュエーション解説②職場で注意をされたら

（職場での相談→アニメーション：注意を受けた時の気持ちの変化）　」（2 分 30 秒）

00分40秒	○アニメーションを見て以下の対応について知る。 ・注意を受けるとき ・その内容がよくわからないとき ・聞いたことを繰り返し確認する ・メモや見本を置いてもらうようにする ・イライラした気持ちを伝える ○(必要に応じて)チーフ役とハルキ役になってロールプレイをして確認する。	**※短いシーンが連続するアニメーションでポイントが確認できる。必要に応じて一時停止して、左記の５項目を再確認する。** ○イライラする気持ち等も含めて、職場の上司や同僚に相談することの大切さを確認する。 **01分25秒シーン：ナレーション「…その気持ちを伝えましょう」で動画を一時停止。** ○その際に、必要に応じて、ロールプレイを取り入れるなどする。
01分56秒	○なぜ注意を受けることがあるのかを考える。 ・正確に仕事を進めるようにする ・ケガにつながることもある ・仲間として頼りにされているからこそ、注意を受けることもある。	**02分03秒シーン：ナレーション「…嫌いだからではありません」で一時停止。** ○「注意」にはどのような意味があるのかこれまでの動画や実習・職場での体験を振り返るように問いかける。

☆動画Ⅶ「　まとめ　（注意を受けたとき・職場での相談のまとめ）　」（1 分 9 秒）

	○注意を受けたときの対応を確認する。	○視聴して再確認する。必要があれば、シーンごとに一時停止して確認する。
	最後は全員（支援員・教師・当事者）で 職場のチーフ・同僚と力を合わせて充実した仕事にしていくことを確認する。	

【　お問い合わせ　】
放送大学学園　障害学生支援事業担当
E-mail: barrier-free2@ouj.ac.jp